

生誕一四〇年
魯山人、
和の美を問う



つばき鉢 1938年

生誕140年・和の美を問う
北大路魯山人展 ROSANJIN KITAOJI

2023.9月8日(金) - 12月24日(日)

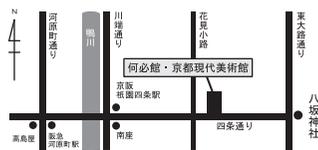
10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで) 月曜休館 (但し 9/18、10/9 は開館)

● 記念出版「和の美を問う 北大路魯山人」3,500円

● 入館料 一般 1,200円 / 学生 1,000円



何必館・京都現代美術館
Kahitsukan・Kyoto Museum of Contemporary Art
京都市東山区祇園町北側 271
電話 075-525-1311 www.kahitsukan.or.jp



京阪祇園四条駅より徒歩3分 阪急河原町駅より徒歩5分
JR 京都駅より京都市バス「祇園」下車徒歩2分

このたび何必館・京都現代美術館では「北大路魯山人展 和の美を問う」を開催いたします。

本年は北大路魯山人誕生 140 年にあたります。京都上賀茂の社家に生まれ、書家、篆刻家として出発した北大路魯山人（1883 — 1959）は、陶芸をはじめ書・絵画・漆芸・篆刻・金工など、個性溢れる作品を数多く生み出しました。

昭和 29 年にニューヨーク近代美術館で「魯山人展」が開催されたのをはじめ、国内外で多くの展覧会が開催され、魯山人の作り上げた美学は没後半世紀を経た今もなお、人々を魅了してやみません。

本展では、厳選された作品約 100 点を、「陶」「書」「茶」「花」「食」の 5 つのテーマに分け、古材や更紗、根来などと取り合わせ展示いたします。魯山人の作品は、「使う」ことで一層の輝きを放ちます。生涯をかけて日本の美と食を追求した魯山人の「和の美を問う」という、これまでにない充実した展覧会になります。

陶

当意即妙の連続



呉須花入 1949年

書

書は下手形の上手がよい



閑林 1954年

茶

美的趣味総合大学



黄瀬戸茶碗 1950年

花

花で絵を描くのが生花



備前旅枕花入 1958年

食

器は料理の着物



木の葉平向 1953年



北大路魯山人 略年譜

- 1883年 京都に生まれる。本名房次郎
- 1925年 星岡茶寮を開設
- 1952年 魯山人生活誌『独歩』創刊
- 1954年 ニューヨーク近代美術館にて「北大路魯山人展」開催
- 1955年 人間国宝の指定を固辞
- 1959年 ジストマによる肝硬変にて死去



何必館 京都現代美術館

Kahitsukan · Kyoto Museum of Contemporary Art

京都市東山区祇園町北側 271

電話 075-525-1311 www.kahitsukan.or.jp

